

(講座) 臨床薬学 (研究室) 薬物治療学
(氏名) 塚元和弘 (職名) 教授

【研究テーマ】

1. 種々の疾患の疾患感受性遺伝子の同定
2. 薬剤応答性や副作用感受性遺伝子の同定
3. 個別化医療を目指した遺伝子診断システムの確立
4. 抗がん剤の薬剤耐性の分子機構の解明と克服剤の開発

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. S. Sadoh, Y. Tsuji, K. Tsukamoto: Correlation of pharmacokinetic parameters with serum vancomycin concentration in elderly patients with malignancies, *Yakugaku Zasshi*, **130**, 69-73 (2010).
2. Y. Nakamura, K. Sano, H. Soda, H. Takatani, M. Fukuda, S. Nagashima, T. Hayashi, M. Oka, K. Tsukamoto, S. Kohno: Pharmacokinetics of gefitinib predicts antitumor activity for advanced non-small cell lung cancer, *J. Thorac Oncol.*, **5**, 1404-1409 (2010). (IF: 4.547)

B 邦文

(B-b) 総説

1. 塚元和弘, 大曲勝久, 中村 稔: 胆汁酸の排泄に関与するABCトランスポーター多型と原発性胆汁性肝硬変の重症化との関連, *臨床薬理の進歩*, **31**, 73-86 (2010).

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. Kayoko Sato, M. Shiota, Y. Narumi, S. Kondo, H. Machida, H. Isomoto, S. Kohno, K. Tsukamoto: A polymorphism in the proliferation-inducing ligand gene is associated with susceptibility to ulcerative colitis in the Japanese population, 18th United European Gastroenterology Week (UEGW) 2010, 10/23-27 (in Barcelona, Spain).
2. Minoru Nakamura, K. Tsukamoto, *et al*: The genetic polymorphisms of CTLA-4 and SLC4A2 are differently associated with anti-gp210 and anti-centromere antibodies production in Japanese patients with primary biliary cirrhosis, The 61st Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases 2010, 10/29-11/2 (in Boston, USA).

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 福田沙耶香, 佐藤加代子, 岩本英子, 安次嶺 渚, 稲嶺達夫, 近藤新二, 峰 沙織, 川村淳一, 本田徳光, 町田治久, 河野 茂, 塚元和弘: *SMAD7*は潰瘍性大腸炎の疾患感受性遺伝子である, 日本薬学会第130年会 2010, 3/28-30 (岡山)
2. 河内歩美, 稲嶺達夫, 比嘉辰伍, 野口扶美枝, 橋口寿恵, 近藤新二, 中村 稔, 石橋大海, 大曲勝久, 塚元和弘: *ABCG5/ABCG8*遺伝子は原発性胆汁性肝硬変の重症化感受性遺伝子である, 日本薬学会第130年会 2010, 3/28-30 (岡山)
3. 岩村直矢, 宿輪紀子, 稲嶺達夫, 塚元和弘, 近藤新二: *IRF6*遺伝子変異による転写活性解析, 日本薬学会第130年会 2010, 3/28-30 (岡山)
4. 佐道紳一, 辻 泰弘, 塚元和弘: 塩酸バンコマイシン投与患者における腎機能障害誘引因子の探索, 第27回日本TMD学会 2010, 6/26-27 (札幌)
5. 持永浩史, 長寄寿矢, 畑地 豪, 荒井淳一, 蒲原涼太郎, 宮崎拓郎, 土谷智史, 山崎直哉, 塚元和弘, 永安 武: 非小細胞肺癌術後症例におけるEGFR遺伝子変異の検索および予後との検討, 第51回日本肺癌学会総会 2010, 11/3-4 (広島)
6. 河内歩美, 稲嶺達夫, 白川弥生, 橋口寿恵, 宇田さやか, 岡部優里, 近藤新二, 中村稔, 石橋大海, 大曲勝久, 塚元和弘: *ASBT*遺伝子は原発性胆汁性肝硬変の進行に関与する, 第27回日本薬学会九州支部大会 2010, 12/11-12 (長崎)
7. 岩村直矢, 宿輪紀子, 加来菜津美, 稲嶺達夫, 塚元和弘, 近藤新二: VWS, PPS患者でみられた転写因子*IRF6*変異は転写活性能を低下させる, 第27回日本薬学会九州支部大会 2010, 12/11-12 (長崎)
8. 福田沙耶香, 安次嶺 渚, 山下愛理沙, 稲嶺達夫, 近藤新二, 町田治久, 河野 茂, 塚元和弘: *IRF5*はクローン病の疾患感受性遺伝子である, 第27回日本薬学会九州支部大会 2010, 12/11-12 (長崎)
9. 三木昌子, 上野まどか, 門脇彩香, 高比良理愛, 稲嶺達夫, 近藤新二, 中村洋一, 河野 茂, 塚元和弘: 肺腺がん患者におけるEGFR (上皮成長因子受容体) 変異, K-ras変異とgefitinibによる治療効果との相関解析, 第27回日本薬学会九州支部大会 2010, 12/11-12 (長崎)

【研究費取得状況】

1. 平成21年度 NPO法人「長崎県地域医療の研究支援を目的とした医師団」研究助成金
「薬剤応答性遺伝子の新規同定と個別化医療への応用」
2. SRLとの共同研究
「*EGFR*遺伝子解析」

【学会役員等】

1. 長崎市薬剤師会監事
2. 日本薬学会代議員
2. 日本薬学会九州支部庶務幹事

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	72 編	(邦文)	9 編
総説 (欧文)	0 編	(邦文)	13 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	6 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	4 編
特許	0 編		